

部活動の更なる充実と発展で豊かで爽やかな中学校生活を

自由民主クラブ 土屋 健一 議員



他校の今後の方針を伺う。 動時間、費用等も勘案し、体験環境を整えていきたい。

教育長 生徒の安全面や移動時間、費用等も勘案し、体験環境を整えていきたい。

議員 中学校の部活動は生徒の自主性・社会性を育み、豊かな人間関係を築くことにも、個性・能力の伸長、健康促進など、子どもたちの成長に大きな役割を果たしていると言われている。部活動の教育的意義を伺う。

教育長 生徒の健全育成をはじめ、望ましい人間関係の育成、体力の向上や責任感・連帯感の醸成など、多岐にわたる教育的意義のある活動だと認識している。

議員 現行の学習指導要領では、部活動は教育課程との関連が図られるよう留意することである。中学校の部活動を教育ビジョン2022に明確に位置付けるべきと考える。所見を伺う。

教育長 教育ビジョンは教育の理念、目指すべき基本的な構想を示しており、具体的な施策の推進については、教育委員会の基本方針と事業計画の中で明確に示すように努めていきたい。

議員 市は希望する部活動の有無等に配慮した越境入学を認めていることから、既存部活動の存続を担保する必要がある。対策を伺う。

教育部長 その種目の指導者となる教員の人事配置に努めるとともに、外部指導員の活用促進など継続的な指導の充実にも努めている。

議員 生徒や教員等の負担軽減のためには、部活動の休養日を確保することが必要と考える。所見を伺う。

教育長 生徒の多面的な能力の育成や教員の負担軽減を図るためにも、適切な休養日を確保していきたい。

議員 現在、就学援助制度に部活動費を入れている自治体はほとんどない。低所得者への経済的な支援が必要と考える。所見を伺う。

教育長 低所得者への部活動費の支援等については、今後の検討課題としたい。

複合災害への着実な備えで市民の生命と暮らしを守れ

自由民主クラブ 小俣 美恵子 議員



甚大な被害をもたらす、避難所の不足から、高齢者でも在宅避難を余儀なくされる人が増えること予想される。避難行動要支援者名簿の作成状況について伺う。

健康福祉部調整担当部長 平成28年度の名簿登録者は1万9千889人であり、協力団体の拡充を図っている。

議員 要支援者の安否確認や避難誘導における、地域包括支援センターや関係団体との連携について伺う。

危機管理担当部長 関係機関・団体の役割分担の検討と、市民との日頃からの関わりが重要だと考える。

議員 夜間の防災を心配する声も多い。夜間防災訓練

地震が起きた時、それに続いて再度の地震、火山の噴火、風水害などの「複合災害」が発生する可能性はある。はじめの被害を極力防ぐことが次の災害への備えにつながるため、

議員 複合災害は広範囲に

自分らしい暮らしが続けられる認知症施策を

自由民主クラブ 穴戸 治重 議員



初め大きな被害をもたらす、避難所の不足から、高齢者でも在宅避難を余儀なくされる人が増えること予想される。避難行動要支援者名簿の作成状況について伺う。

健康福祉部調整担当部長 平成28年度の名簿登録者は1万9千889人であり、協力団体の拡充を図っている。

議員 要支援者の安否確認や避難誘導における、地域包括支援センターや関係団体との連携について伺う。

危機管理担当部長 関係機関・団体の役割分担の検討と、市民との日頃からの関わりが重要だと考える。

議員 夜間の防災を心配する声も多い。夜間防災訓練

今や認知症は、誰もが関わる可能性がある身近な病気である。認知症施策の推進に当たっては、本市の認知症高齢者の推定値を把握しておくべきだ。

市長 厚生労働省の認知症施策推進総合戦略では、平成24年で65歳以上高齢者の7人に1人が認知症と推測されており、本市も同程度の割合と推測している。

議員 認知症施策は、容体の変化に応じて適時適切に支援する仕組みが大事だ。更なる早期発見・早期診断体制の整備や関係機関との連携について所見を伺う。

市長 杏林大学医学部付属病院との認知症アウトリーチチーム派遣事業の効果等を踏まえ、国が示す認知症

日本無線㈱三鷹製作所跡地の大型マンション計画を問う

自由民主クラブ 石井 良司 議員



日本無線㈱三鷹製作所跡地の売却で大規模な土地利用転換が進んでいる。跡地の約45%を占める北側のA地区に、事業者から大規模土地利用構想の届け出が提出された。内容を伺う。

市長 届け出の内容は、共同住宅が80戸、高齢者向け住宅が40戸、子育て支援施設、店舗等となっている。

議員 A地区の土地利用方針には、業務施設等の誘致や高齢者向け住宅等を含む住宅を中心とした良好な市街地の形成を図る地区とある。マンションと高齢者向け住宅を合わせて50戸程度が妥当だと考える。今後の土地利用の考え方を伺う。

市長 住居系の用途地域等への変更及び地区計画を変更し、周辺環境へ配慮した事項を定め、子育て支援施設などの設置も協議する。

議員 A地区での大型マンションの建設は、高山小学校中心に、市内の事業者により活用してもらいたい。

第二副市長 ものづくりを中心に、市内の事業者が中心となるのか、所見を伺う。

議員 障がい者の親しまれやすい住まいとしてのグループホーム及び親のレスパイト（休息）のためのショート

市民ニーズに応えた障がい者施策の充実を

公明党 大倉 あき子 議員



障がい者の親しまれやすい住まいとしてのグループホーム及び親のレスパイト（休息）のためのショート

議員 障がい者の親しまれやすい住まいとしてのグループホーム及び親のレスパイト（休息）のためのショート

健康福祉部長 グループホーム整備は重要な課題と捉えている。またショートス

健康寿命延伸都市ナンバーワンの三鷹を目指せ

公明党 粕谷 稔 議員



長寿社会の中で、健康寿命をいかに伸ばしていくかが大きな課題だ。本市の医療費削減に向けた分析について、所見を伺う。

議員 長寿社会の中で、健康寿命をいかに伸ばしていくかが大きな課題だ。本市の医療費削減に向けた分析について、所見を伺う。

市長 特定健診の未受診者は、高血圧症、高脂血症、糖尿病の併存割合が高い。健診の受診勧奨と受診者へのフォロー拡充に努める。

議員 若い頃からの運動習慣が生活習慣病の予防につながる。平成29年4月に開設するSUBARU総合スポーツセンターでは、民間施設とどのような差別化を図り、若い世代も含めた利用者を増やしていくのか。

市長 夜間、週末、短期間のスポーツ教室、レベルに応じたきめ細かいプログラム等を実施し、スポーツのきっかけを提供していく。

議員 特定健診の結果から



SUBARU総合スポーツセンター(イメージ)